

国際交流パーティー

参加者の出身は10か国以上。日本人と外国人や、外国人同士で、たくさんの交流が生まれています。1月の新春パーティーは、まず、こどもたちのインド舞踊に盛大な拍手が。続いて、見事な日舞を披露してくれたのは、カナダ出身のALT*1。ガーナ出身のゲストとジャンベ*2を叩いた後は、全員でジェンカを踊りました。にぎやかで笑いの絶えない、心暖まるひと時となりました。

*1 小中学校に派遣されている英語教師 Assistant Language Teacher
*2 西アフリカの伝統的な打楽器



つくってみよう！世界の料理

料理には、その土地の文化と習慣、工夫や知恵が詰まっています。珍しい食材や調味料、野菜の切り方から盛り付け方まで、水戸に暮らす外国人の方から料理を習うこの講座は、いつも驚きと笑顔に満ちています。2023年から対面での講座を再開。以来、マダガスカル、中国、台湾、イランの料理を作って食べて、交流を楽しみました。



レシピは当協会のWEBサイト(世界発見記〜料理でめぐる世界紀行)に掲載しています。ご家庭で海外の料理を作って、その土地に思いを馳せてみませんか？

外国人市民のための防災講座

市民団体や水戸市*1の協力のもと、外国人市民に防災情報を提供する講座を、定期的に開催しています。昨年12月は、座学に加えて「地震が起こり、国際交流センター3階の調理室で火災が発生」という想定で、屋外へ避難するまでのプロセスを実際に体験しました。

*1 みと男女平等参画を考える会、水戸市防災・危機管理課

緊急地震速報が鳴ったら、テーブルの下へ

避難経路の説明。スモークで臨場感たっぷり

消火訓練は全員が体験

簡易トイレの使い方に興味津々

●頻りに訪れる施設の、避難経路をあらかじめ確認しよう！

●災害が起こった時、もしも外国出身の人が身近にいたら、ちゃんと情報が届いているか、声をかけよう！

バッククッキング(ポリ袋に材料を入れて湯煎する調理法)の紹介も

MCIA防災担当 たけちゃんより

イベント・講座の情報は、ホームページ・Facebook・LINEでお知らせします

イベント情報 配信中!



茨城県青少年コミュニケーションクラブ The World Youth Communication Club of Ibaraki(WYCCI)

◆2024年に設立40周年を迎えました
つくば科学万博の開催前年(1984年)に、茨城県庁総合県民室に登録していた語学ボランティアが「来県する外国人に心のこもった接遇をしよう！」と結集。当時、総合県民室の庄司治さん(故人)と一緒に、「若者が中心となって」「茨城県から世界に発信しよう！」という想いを込めて、団体をWYCCIと名づけました。

◆外国人との交流や語学ボランティアなどを通じて国際交流・異文化理解を行っています

- ・「外国人による日本語スピーチコンテスト」(2月)の運営協力*1
- ・「小・中学生英語スピーチ大会」開催(7月)*2
- ・カナダ大使館訪問 ・川村記念美術館/佐倉武家屋敷見学
- ・英語講演会の開催(年3回) ・英語案内研修*3

*1 茨城県国際交流協会主催 *2 2025年も開催予定。詳しくは下記へ
*3 茨城県を英語で紹介する研修。2024年度は倍楽園で実施。2025年度は「水戸学の道」を予定。



会員を募集しています

約70名の会員が、家族的な雰囲気の下で活動しています。上記以外にも、各種英会話研修会の指導や援助のボランティアを行っています。国際交流を楽しみたい方、ホストファミリーになりたい方、語学研修に参加したい方など、年齢に関わらず、どなたでも歓迎いたします。

お気軽に事務局へご連絡ください！
wycci@yahoo.co.jp 090-6515-1408(谷萩)



こどもたちの交流は、新しい未来への扉



水戸から世界へ。世界から水戸へ。 未来を照らす国際交流。

友好交流都市 台南をもっと楽しもう!

昨年、使節団が台南市を訪問し友好交流都市の協定を結びました。これは、水戸市出身で、太平洋戦争で戦死した杉浦茂峰氏が「飛虎将軍」として台南市で長年にわたり手厚く祀られていること、子どもたちのスポーツ交流、台湾南部大地震の義援金の送付、飛虎将軍ご神体の里帰りなど、さまざまな交流が実を結んだものです。今回、こうして友好交流都市というご縁のできた台南市ですから、台湾に行く機会があったら、ぜひ台南も訪れてみませんか？ それでは、台南の魅力をご紹介します。

台南市の面積は2,192km²で東京都の面積とほぼ同じ(茨城県の面積の約4割)。人口は180万人で、旧市街には史跡や観光地などが集まっているほか、郊外にも一度は訪れたいスポットがいろいろあります。

台南

国立台湾歴史博物館

歴史好きにとっての台南 20世紀末からの台湾の民主化を機に、この博物館は誕生しました。オランダや日本、中国大陸の政権の統治の下、台湾の人々を主人公とする独自の歴史をテーマに、台南につくられました。



飛虎将軍廟

台南市中心部/国立台湾文学館

歴史と文化の都市 台南には市の中心部に、国立台湾文学館もあります。建物は日本統治時代の台南州庁。古都台南は文芸が盛んで、台南出身あるいは台南を愛した作家たちが大勢いました。



政治にも熱い台南

1970年代末からの台湾の政治民主化運動でも、台南は運動の拠点として重要な位置にありました。民進党支持が強く、同党選出で初の総統となった陳水扁は台南市出身。現在の頼清徳総統も、生まれは北部の新竹市ですが、台南にある国立成功大学医学部病院の内科医から転身して台南市長に。台湾南部の人はのんびりしているとされますが、政治的にはとても熱いのです。

水戸から台南へのアクセス

茨城空港/成田空港から高雄国際空港へのフライトが便利。空港から台南までは、本数も多い高速バスがオススメです(約90分)。

台南美食

台南は台湾でも美食の都市。台湾全土からグルメたちが台南に集まります。台南の安平区はまさしく「水郷」で新鮮な魚介類が豊富。また昔から放牧も盛んで牛肉や羊肉を使ったスープは、コンソメのようにあっさりしていて台南の名物。台湾で人気のスイーツも台南発祥のものが数多くあります。



台南の中心部(旧域内)の広さは東京ディズニーリゾートの約3倍。慣れない旅先で、路線バスを利用しなくても歩いてまわれる広さです。

関子嶺温泉

台南駅から鉄道とバスを乗り継いで2時間ほど。標高600mほどの山あい「泥湯」で有名な関子嶺温泉があります。この泥を肌に塗ると角質や老廃物が除去されて、お肌すべすべと評判です。天候によっては、この標高でも眼下に広がる雲海を楽しめます。

鳥山頭ダム/八田與一記念公園

八田與一(1886~1942)は金沢出身の水利技術者で東京帝国大学工学部土木科卒業後、台湾総督府で土木技師となり、台湾南部・嘉南平野の灌漑計画に着手して巨大な鳥山頭ダムを完成させました。



玉井 マンゴーの里

日本でも評判の台湾マンゴーの名産地。台南駅から路線バスで70分ほど。日本ではちょっと高級感のあるマンゴーも、玉井では種類も豊富で、気軽に買ってたくさん食べられます。



写真は臺南市政府観光旅遊局、国立台湾歴史博物館HPより転載

Topics ボランティアも学習者も楽しく!

日本語を学びたい外国人を支援する日本語ボランティアのための研修会を開催。「初級レベルの学習者との会話を広げるにはどうしたらいい?」という悩みに応え、専門講師がグループワークを通してコミュニケーション術を伝授しました。ポイントは「相手の話を待って、傾聴すること」。支援する側が楽しく活動することで、学習する側もより楽しく学び続けられることが理想です。



日本で!水戸で!海外にルーツを持つ子どもたちが描く未来

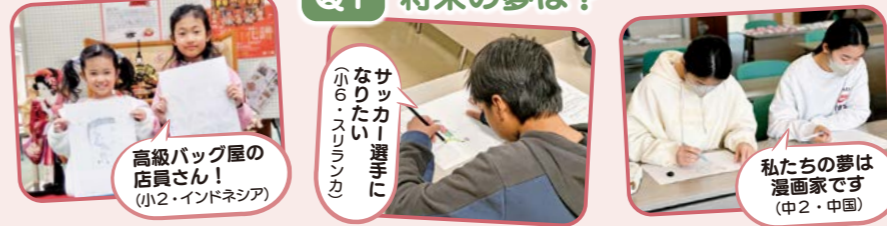
市内の在留外国人が増えると同時に、家族滞在として水戸で暮らす子どもが増えています。ほかの外国人市民と同じように、その子どもたちも日本の未来を支える大切な存在です。

~センターの日本語教室に通う小中学生11人に聞きました~



子どもたち一人ひとりが自分の夢を描きながら日本で暮らしています。

Q1 将来の夢は?



Q2 水戸で好きな場所は?

千波湖 ダントツNo.1
少年の森、水戸駅、市立図書館、常磐神社...など

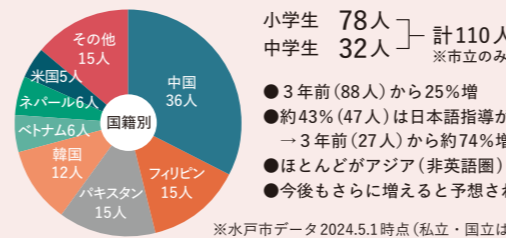
Q3 これからもずっと水戸/日本に住みたい?

はい(7人) 日本はきれいだから。家族がいるから。/楽しいから。文化を学びたいから。
いいえ(1人) もっと視野を広げたいから。(わからない:3人)

Q4 学校で...

楽しいこと③
・友だちと遊ぶこと
・理科・休み時間
・園芸・クラブ/部活
困っていること③
・無い!・国語・算数
・テストや授業が難しいこと

外国籍の児童・生徒に関するデータ

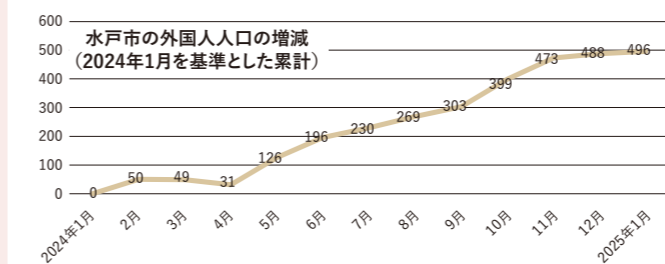


水戸市国際交流センターでは、毎週木曜日の夕方に日本語教室「ほんご放課後の部屋」を開催しているほか、毎週日曜日にも専門ボランティアによる、こどものための日本語教室があり、小中学生が日本語や学校の科目を学んでいます。詳しくはお問合せください。

子どもたちは、国籍やルーツを問わず、学校では笑ったり悩んだりしながら、友だちと遊び、日本での暮らしを毎日精一杯楽しんでいます。これからも彼女らが、のびのびと暮らしていけるよう、たくさんの夢が詰まった未来に向かって歩いていけるよう、様々な形で寄り添い応援したいです。

(水戸市の人口) 外国人市民の増加

昨年(2024年)1年間の水戸市の人口を見てみましょう。1年で総人口は1,376人減少(▲0.5%)で長期的に緩やかな減少傾向にあります。そのなかで、外国人市民数は496人増加(+12.6%)しています。海外にルーツを持つ子どもたちが増え、社会の多くの職業を外国出身の市民が担っています。多文化共生が私たちの生活で重要になっています。



ことばのひびきを楽しもう!「世界のことばでよみかせ」を水戸市民会館で開催!*

ひとつの絵本の朗読を、外国語と日本語で聞き比べる人気のイベントを、水戸市民会館2階「子どもギャラリー」に会場を移して開催しました。靴を脱いでフロアに敷かれたマットに座って、聞いたことのない言葉の響きに耳を傾ける子どもたちの表情は真剣そのもの。音楽に合わせて身体を動かす時には笑顔がはじけました。午前と午後の2回、たくさんの方にご参加いただきました。



*水戸市民会館主催の「水戸キャンパス100」と共催